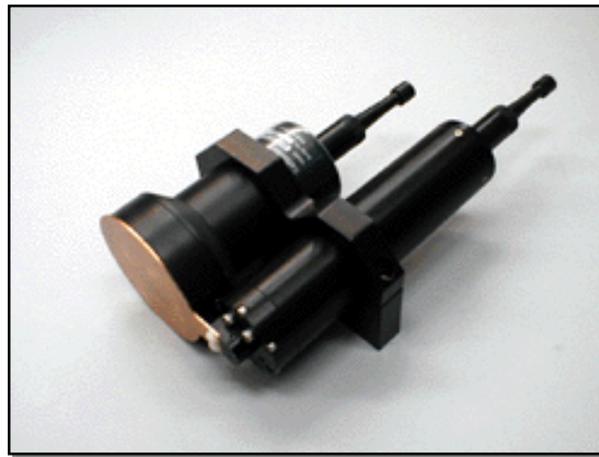




バイオ・シャッター II

Bioshutter II は自律的な水中シャッターで、Satlanticの光学機器に取り付ける用途に設計されました。シャッターの主要な目的は、係留中に時系列の用途で、センサーの光学面に海洋生物が付着するのを防ぐことです。銅を主成分とする合金は、生物の汚れに対して抵抗力があることが良く知られ、様々な商業用目的で使われています。国立海洋協力プログラム(NOPP)の化学、光学、物理学の実験のための海洋システム(O-SCOPE)プロジェクトの後援で、カリフォルニア大学のサンタ・バーバラ海洋物理学研究所で働いている科学者が、SatlanticのOCR-500やHyperOCRシリーズの機器などの測定器で使うために、水中シャッター装置を開発しました。SatlanticのBioshutter II 装置は、厳しい海の環境で強い操作性を確実にするために組み込まれた革新的な銅製のシャッターとモーター駆動を制御する入力電力の結合が、この機器の成功に基づいています。



特徴:

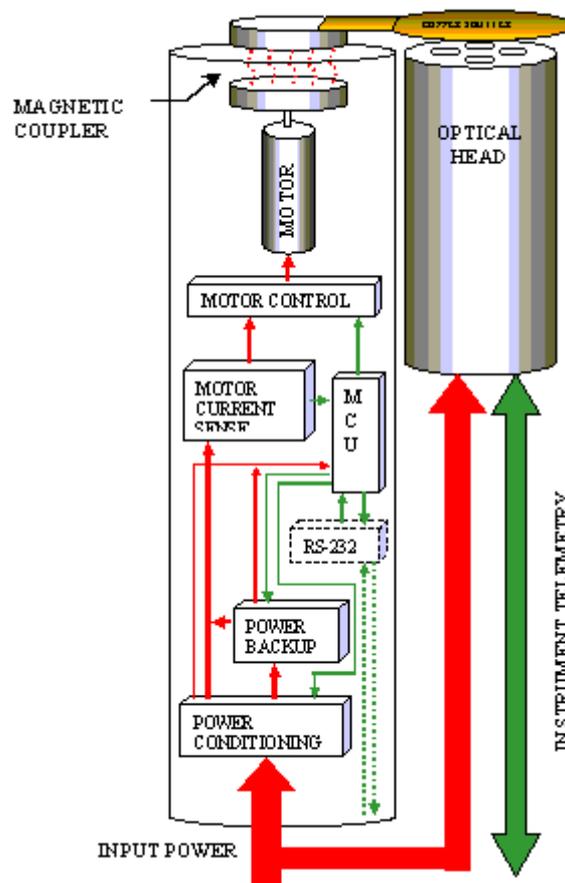
- 係留中にセンサーの光学面に海洋生物が付着して成長するのを制限。
- 頑強なメカニカル設計
- 完全に自律 - 外部電力のみ必要
- シンプル操作 - 電力が供給されると開き、電力が除去されると閉まる。
- 速い作動 - 開くのに4秒、閉まるのに6秒(標準)
- 少ない消費電流(シャッターを開くのに1 mAh、その後は 0.16 W)
- 広いレンジの作動電圧(DC10 ~ 20 V)
- ヒューズが付いて、逆電流と過電圧に対して保護されている入力
- シャッターの駆動は、180度(デフォルト)と90度からユーザーが選択可能
- シャッターの回転は、時計回り(デフォルト)または反時計回りから利用可能
- 現在、SatlanticのOCR-500、OCR-200、またはHyperOCRシリーズの機器の用途に利用可能



バイオ・シャッター II の動作

バイオ・シャッター II の動作は、非常にシンプルな電力サイクル回路です。機器に装着すると、銅製のシャッターがセンサーの光学面に生物が付着するのを妨げるために、直接光学センサーの上で閉まる位置に留まります。機器に電力が供給されると、バイオ・シャッター II はシャッターを開けて、低電力スリープに入ります。電力が供給される限り、シャッターは開いた位置のままです。電力が除去されると、シャッターは閉まります。電力が再供給されると、そのサイクルを繰り返します。

獲得スケジュールに頼らず自律した動作を可能にしているバイオ・シャッター II のこの方式は、係留の用途に良く適しています。係留コントローラーは、十分な時間(~30s)が内部の電力供給を満たしている限り、バイオ・シャッター II を制御するためにプログラムされる必要がありません。



この仕様は、予告なしに変更になることがあります。

CT&C

【Satlantic 日本総代理店】
株式会社 シー・ティー アンド シー
〒140-0002 東京都品川区東品川 1-22-7
TEL: 03-5460-1048 / FAX: 03-5460-1049

URL: <http://www.ctandc.co.jp> / E-mail: info@ctandc.co.jp